

薬剤抵抗性が発達した害虫対策に

マイコタール®

バーティシリウム レカニ水和剤 500g入

有効成分及び含有量：バーティシリウム レカニ孢子… 3.0×10^9 spore/g

マイコタール®はアリスライフサイエンス株式会社の登録商標です。



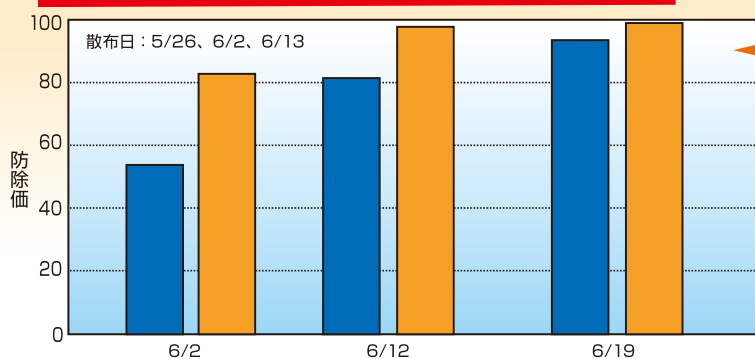
特長

- 有効成分バーティシリウム レカニが薬剤抵抗性の発達したコナジラミ類・チャノキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマに感染
- JAS法に適合し農薬散布回数にカウントされません。
- 好条件下ではバーティシリウム レカニが他の害虫へ二次的に感染
- マルハナバチ・ミツバチ・天敵などへの影響が少なく、環境に優しい剤です。



冷蔵保存(5℃)

マイコタールとエコピタの混用事例



■マイコタール1000倍 ■マイコタール1000倍+エコピタ液剤200倍
*混用例を紹介するもので混用を推奨するものではありません。

気門封鎖剤であるエコピタ液剤との混用区では、早期に高い防除効果が認められた

定植日：2023年4月24日
場所：長野県長野市
供試作物：ミニトマト(品種：千果)
供試虫：タバココナジラミ(タイプB)放虫
区制：1区10株2連制
放虫方法：定植前日(4/23)、定植後5/8、5/15に成虫約1000頭を放虫した

エコピタ® 液剤

エコピタ®は協友アグリ(株)の登録商標です。



アリスライフサイエンス株式会社

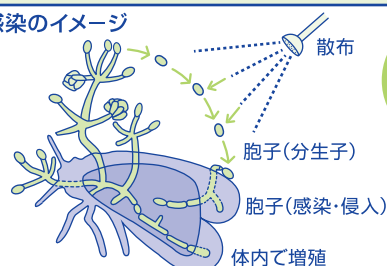
適用害虫と使用方法

(2023年11月現在の登録)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	パーティシリウム レカニを含む農薬の総使用回数
野菜類（施設栽培）	コナジラミ類	1,000倍	150～300ℓ /10a	発生初期	—	散布	—
マンゴー（施設栽培）	チャノキイロアザミウマ		200～700ℓ /10a				
きく（施設栽培）	ミカンキイロアザミウマ		150～300ℓ /10a				
トルコギキョウ（施設栽培）							

マイコタールの働き方

感染のイメージ



1

散布によりパーティシリウム・レカニの孢子がコナジラミ・アザミウマの体に付着

3

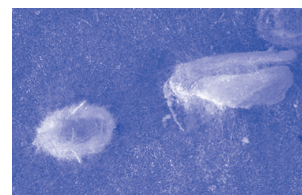
コナジラミ・アザミウマ体内の水分・養分を利用して増殖

2

付着した孢子が発芽し、体表面の皮膚を貫通してコナジラミ・アザミウマの体内に侵入

4

害虫死亡



死亡したコナジラミ

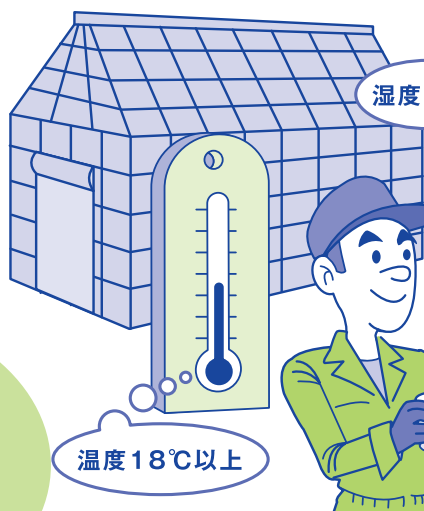
★上手な使い方★

散布液の調製

本剤の所定量を数リットルの水でよくかき混ぜてからタンクに移し、所定量の水を加えて希釈してから、速やかに散布します。希釈には水道水を使用しても問題ありません。

散布適期

害虫の発生初期および栽培初期の利用がおすすめです。春から秋の温度・湿度が高い時期、特に梅雨や秋雨、春の長雨期の散布が効果的です。高温・高湿度で管理される促成ピーマン等では冬期もお使いいただけます。



温度18℃以上

湿度80%

梅雨・秋雨等の長雨期が効果的だよ！

湿度管理

灌水を十分に行って蒸散を促し、葉裏の湿度が高まっている環境でご利用ください。過去に推奨されていた散布後のハウスの蒸し込みは不要です。

複数回散布

害虫の卵には感染しないので繰り返し散布する必要があります。7日程度の間隔で複数回散布してください。

散布部位

害虫に付着しないと効果が得られないのでコナジラミやアザミウマが好んで生息する葉裏や花、生長点にかかると十分に量を散布します。

他剤との混用は下記の影響表をご参照ください。ただし散布24時間以後であれば影響のある薬剤も使用できます。

マイコタールに対する殺虫剤、殺菌剤の影響

	影響大きい	影響小さい
殺菌剤	アミスター、アリエッティ、アンビル、エムダイファー、オーソサイド、オンリーワン、カスミンボルドー/カッパーシン、キノンドー、サブロー、サンヨール、ジマンダイセン、ジャストミート、ストロビー、ダコニール、チルト、ドイツボルドーA、トリフミン、デラン、パスワード、ペンコゼブ、ベンレート、モレスタン、ポリオキシシン、ヨネポン、ラリー、ランマン、リゾレックス 及びこれらと同じ有効成分を含む混合剤	アフエット、アントラコール、エトフィン、カリグリーン、カンタス、コサイド、ザンプロDM、シグナム、ジャストフィット、スクレア、スミレックス、セイビアー、ダイナモ、ネクスター、パレード、ピカット、ピクシオ、ファンタジスタ、ファンベル、フェスティバル、フルピカ、プロパティ、ベトファイター、ベルコート、ホライズン、モンカット、ライメイ、ラミック、ルビゲン、レーパス、ロブラール
殺虫剤	有機リン剤(オルトラン、スミチオン、ダイアジノン、マラソンほか) カバーメート剤(ミクロデナボンほか)、ダニカット	左記以外の殺虫剤、各種粒剤、ベイト剤 ※殺虫剤との混用で相乗効果が報告されています

本表は、日本生物防除協議会会員各社やその他の農業メーカー、国内の公的試験研究機関、Koppert社、その他海外情報などの資料を元に、独自の解釈を加えて作成しました。今後必要に応じて改訂される場合があります。表中に記載のない薬剤は影響が不明なので、混用散布は避けてください。

農業は正しく使いましょう。●ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋（空容器）は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



アリスタライフサイエンス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目4番1号

TEL.03-5203-9350

<https://www.arystalifescience.jp/>